

# 1.2号機SFP水位低下時の敷地境界における 線量影響について

2022年5月



東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

# 1.敷地境界における線量影響について

- ✓ 1・2号機使用済燃料プールが漏えいによって水位低下が継続した際、各プール主要水位における敷地境界付近の線量評価を行った。

## <評価結果>

( $\mu\text{Sv/h}$ )

SFP水位	1号敷地境界付近線量	2号敷地境界付近線量
TAF+4m	$6.55 \times 10^{-3}$	$7.72 \times 10^{-4}$
TAF+2m	$1.97 \times 10^{-1}$	$2.32 \times 10^{-2}$
TAF	$4.36 \times 10^{-1}$	$8.27 \times 10^{-2}$
BAF	$5.30 \times 10^{-1}$	$1.10 \times 10^{-1}$

## 2.モニタリングポストにおける線量影響について

- ✓ 1・2号機のうち、使用済燃料プール低下時の線量影響が大きい評価となった1号機について、BAF到達時における各モニタリングポスト(MP)の線量評価を行った。

### <評価結果>

場所	1号機SFP中心からの距離 (m)	1号機SFPにおけるBAF時の線量評価値( $\mu\text{Sv/h}$ )
MP - 1	枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。	
MP - 2		
MP - 3		
MP - 4		
MP - 5		
MP - 6		
MP - 7		
MP - 8		

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。